

○中小企業・地域へのAX実装支援

- 中小企業におけるAIやAIエージェントの導入を加速し、生産性や供給力の向上につなげるため、生成AIの導入・初期利用、社内の業務データの整備、企業固有のAI活用に至る段階的なAXプロセスをどのように支援すべきか。特にAI導入後に必要なトークンを一定程度支援するなどの初期費用の支援が重要ではないか。
- 地域ごとの商工会・商工会議所、税理士、金融機関、大学・高専等の教育機関や自治体が連携し、地域・中小企業のAXを継続的に伴走支援する体制やネットワークをどのように構築・支援すべきか。

○大企業のAX実装と組織・経営改革の促進、海外展開支援

- 大企業のAX実装を単なる業務効率化にとどめず、企業経営トップが関与した組織・経営改革につなげていくために、どのような仕組みが必要か。
- AXによる雇用への影響が懸念される中、地方・中小企業の人材不足（AX実装の支援人材など）も踏まえ、どのように対応していくことが望ましいか。大企業の人材をAI開発人材やFDE（Forward Deployed Engineer）などのAX支援人材にリスキリングする動きを加速してはどうか。
- 我が国の信頼できるAI・AXモデルをグローバルサウス等の社会課題解決につなげるため、現地実証、制度・人材基盤の整備、政府・国際機関・現地企業との連携などの海外展開支援をどのように進めるべきか。

○データ・システム・セキュリティ基盤の整備、スタートアップ支援、規制制度の見直し

- 個人情報や現場データ、営業秘密等の重要データを適切に保護するため、オープンなAIの安全な利活用に向けた環境整備や、中小企業を含めたサイバーセキュリティ対策の強化について、どのような施策を講じていくべきか。
- AX関連スタートアップの成長や市場創出を促すため、アンカーテナンシーや公共調達を活用した支援をどのように進めていくべきか。
- AX社会実装を阻害する規制・制度の見直しをどのように進めるべきか。例えば、サンドボックス制度やグレーゾーン解消制度のAX分野における強化を図るべきではないか。

検討の論点（業種別対応）

○建設

- ・ 施工管理や間接業務、建設現場へのAX実装を進め、建設能力の拡大を図るためのボトルネックや重点領域は何か。
- ・ 公共工事に加えて民間建設領域でもAXの社会実装を加速するために必要な政策手段は何か。半導体等の大規模成長投資プロジェクトを活用することが考えられないか。
- ・ 個別企業の効率化にとどまらず、BIM/CIM等のデジタルデータの活用・共有など、発注者、設計者、元請、専門工事会社等が連携した建設サプライチェーン全体のAXをどのように促進すべきか。特に中小建設事業者に対する支援をどう強化すべきか。

○運輸（物流・公共交通）

- ・ 配車・ルート最適化に加え、受発注、荷待ち・荷役等を含む物流業務の効率化・最適化を実現するため、荷主、物流事業者、倉庫事業者等が連携した物流サプライチェーン全体のAXの社会実装をどのように進めるべきか。
- ・ 都市部や交通空白地域など地域の特性を踏まえて、自動運転の社会実装に向けて高度L2やAIの活用をどのように進めるべきか。併せて、地域交通の付加価値や生産性の抜本的向上を実現するため、地域交通のAXをどのように進めるか。

○医療・介護

- ・ 医療従事者の負担軽減と医療提供体制の維持・強化を図るため、診療記録、病床・勤務管理等の病院全体のAX実装（スマートホスピタル化）をどう進めるべきか。また、標準化された電子カルテの普及や地域医療のAXをどう進めるか。
- ・ 施設介護のみならず在宅介護においても、介護職員・ケアマネジャーの間接業務負担を軽減し、利用者へのケアに充てる時間を確保するために、見守りや介護記録、ケアプラン作成等へのAX実装をどのように進めるか。
- ・ AXの社会実装による現場負担の軽減やサービスの質の向上を踏まえて、診療報酬や介護報酬等の制度や事業者への支援の在り方をどのように見直していくべきか（ケアマネジャーの担当件数基準や診療報酬、介護報酬（生産性向上推進体制加算）におけるAXの効果の斟酌など）。